

# 介護職に必要な病気の知識とケアのポイント

## □脳梗塞

### 1. 脳梗塞ってどういう病気？

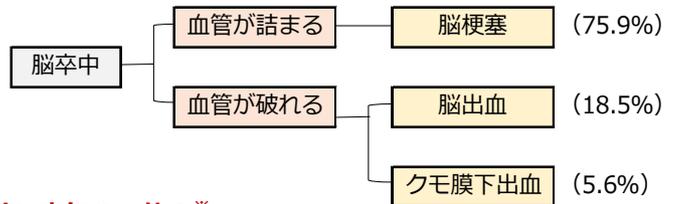
脳卒中とは？

脳・・・「脳」

卒・・・「突然」

中・・・「(あたる) 倒れる」

「突然倒れる脳の病気」という意味



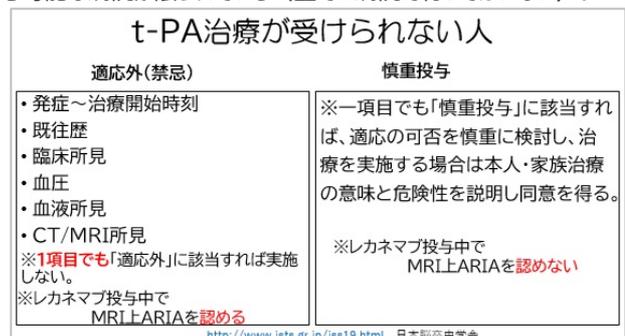
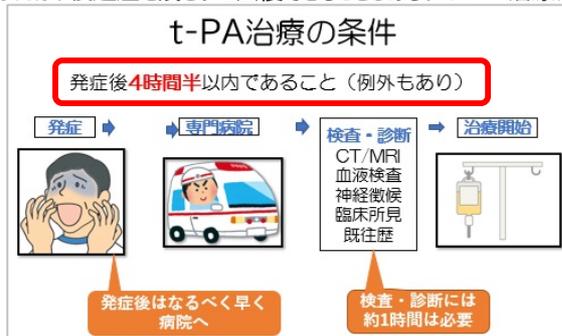
**\*脳血管疾患は、死亡原因の4位※1)、寝たきりになりやすい病気の1位！※2)**

※1) 2023年 人口動態統計(確定数)の概況より抜粋 ※2) 2022年 国民生活基礎調査の概況より抜粋

### 2. 最新治療について

#### \*「rt-PA (アルテプラゼ) 静注療法」(以下、t-PA 治療)

脳の血管に詰まっている血栓を溶かす⇒血栓が溶けることで、血管が再開通する⇒早期に血流を再開できれば、後遺症が軽くなる。または、後遺症を残さずに回復できることもある。t-PA 治療は、対応可能な病院に限られている(全ての病院で行ってはいない)。



### 3. 早期発見方法

**Check! FAST!!** 脳卒中の早期発見には **FAST (ファスト)** の活用が有効です！

**F (Face/顔)** : にっこり笑うと、口や顔の片方がゆがむ。飲み物や唾液が片方の口元からのみ流れ出る

**A (Arm/腕)** : 手のひらを上に両手を前方にあげ、目を閉じて 10 数える間に片方の腕が下がる

**S (Speech/言葉)** : 「今日はいい天気」とうまく言えない。言葉が出てこない。呂律がまわらない

**T (Time/時間)** : 発症時間の確認。躊躇せず、119 番コールを！

**上記 1 つでも症状が出ていれば、脳卒中の可能性 70%以上！！**



発症時間が不明な場合、関係者間で、最後に誰がどんな状態を確認したのか、情報整理が必要(例: 深夜 2 時に歩いてトイレに行く姿を確認した)

### 4. ケアの注意点

- ・発症/再発予防には、8 大危険因子を考慮した生活習慣の見直し・改善が重要
- ・利用者のいつもの状態を観察し、理解しておくことで、変化に気付けるようにする
- ・本人、家族、多職種間で「FAST」を習得し、「もしもの時」に備える
- ・もしもの時、119 番コールした際に①誰が救急車に同乗するのか(決断ができる人、利用者の状況・病気について知っている人) ②何を持っていか(お薬手帳は必要)等について、事前に話し合っておくと良い

**脳卒中は、治療までの時間との闘い。「おや？」と思ったら FAST を！**

※この資料は、令和 7(2025)年 4 月 23 日開催の疾患勉強会「脳梗塞について学ぼう！」の資料から引用して作成しています。

